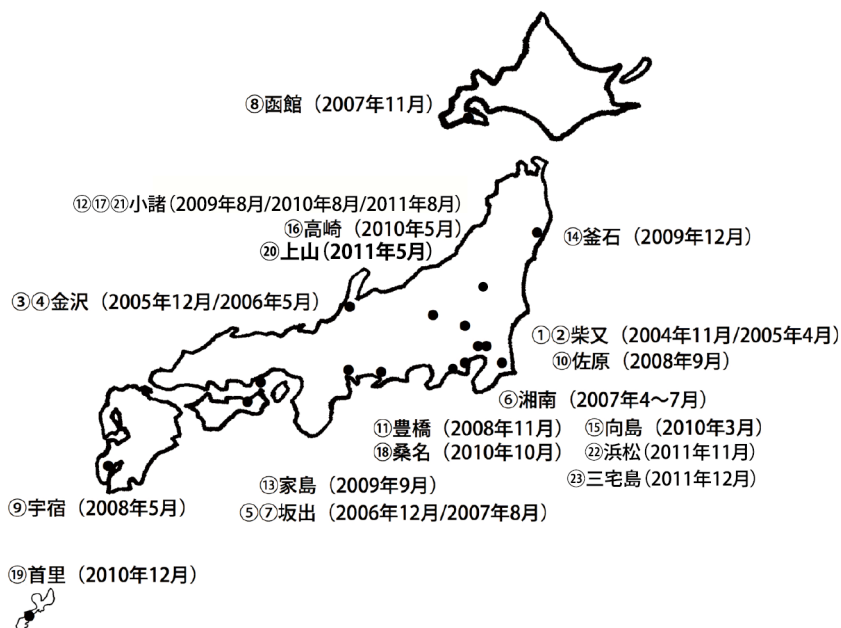


<Press Release>

■ 上古町キャンプ（フィールドワーク）の実施について

慶應義塾大学・加藤文俊研究室では、人びとの集う「場所（グッド・プレイス）」をテーマに調査・研究をすすめています。創造性に富み、活気のある「場所」を成り立たせる要件を、コミュニケーションの観点から考察しています。「場所」は、たんなる物理的な環境ではなく、人と人とのコミュニケーションが前提となって生まれます。さらに、人びとが自らの居場所をどう理解するかは、個人的な問題であると同時に、社会的な関係の理解や自分をとりまく環境とのやりとりによって考えていくべきものと言えるでしょう。

私たちは、まずは、まちを歩いて、人びとの生活をつぶさに観察すること、わずかな時間でも人と話をすることを重視しています。見ること・聴くことで、人びとの佇まいやことばから、「場所」の理解を試みるのです。「よそ者」ならではの、ものの見方/考え方を活かして、感じたことを形にします。



これまで、桜木町/野毛町（横浜市中区）、柴又（東京都）、金沢市（石川県）、坂出市（香川県）、湘南・江ノ電沿線（神奈川県）、函館市（北海道）、宇宿（鹿児島県）、佐原（千葉県）、豊橋（愛知県）、小諸（長野県）、家島（兵庫県）、釜石（岩手県）、高崎（群馬県）、桑名（三重県）、首里（沖縄県）、上山（山形県）、浜松（静岡県）、三宅島（東京都）などで調査を実施し、ポスター、ポストカード、まち歩き用の音声ガイド、ビデオクリップ、かわら版、電車の中吊り広告などを制作しました。成果物をできるかぎり具体的なかたちで公開・流通させ、あたらしいコミュニケーションのきっかけづくりに役立てています。

今回は、上古町商店街（新潟市）を中心とするエリアで一泊二日の「キャンプ（フィールドワーク）」をおこないます。参加者は2～3名のグループに分かれて、まちの人びとへのインタビュー取材やまち歩きをつうじてデータを集めます。そして、滞在中に編集作業をすすめて、成果をポスターとしてまとめる予定です。かぎられた時間での調査・作業ですが、取材対象となった人の考えかた、はたらかた、まちへの想いなどの記述を試みることで、上古町商店街の人びとの魅力を理解する試みです。

詳細は → <http://vanotica.net/kfurup1/>（随時更新）

上古町キャンプ（フィールドワーク） 概要

■日時 2012年5月19日（土）～20日（日）

■場所 新潟市（新潟県）

集合場所：新潟市上古町商店街事務所（〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通3番町661）

■おもな活動内容 ※調査内容およびスケジュール等は変更される場合があります。

- 上古町商店街におけるフィールドワークおよびインタビュー調査
- 成果のまとめ・報告会（意見交換）

■スケジュール（暫定版）

1日目：5月19日（土）

10:30～ 集合（新潟市上古町商店街事務所 TEL. 025-225-0354）
オリエンテーション；グループ分け
12:00 ごろ～ フィールドワーク・インタビュー（グループごとに行動）
17:30～ アイデア出し/デザイン作業（
19:00～ （夕食）
20:00～ デザイン作業/ブラッシュアップ

2日目：5月20日（日）

8:00～ データ完成・入稿（時間厳守）
9:00～ 出力・ラミネート加工
12:00 上古町商店街に展示
15:00～ 発表会
・交流会/懇親会
17:00 ごろ 解散

■成果の公開

今回のフィールドワークの成果は、A4サイズのミニポスターとしてまとめる予定です。各自（グループ）が滞在中に完成させるポスターは、上古町商店街のアーケード支柱に展示するとともに、意見交換のための素材として活用したいと考えています。

■参加者

29名* 予定

教員 加藤文俊 環境情報学部 教授

学生 研究プロジェクト（研究会）メンバー 28名（学部生25名・大学院生3名）

■連絡先など

（調査に関する質問等）

加藤文俊（かとうふみとし） 慶應義塾大学 環境情報学部 教授

メール fk@sfc.keio.ac.jp URL <http://fklab.net/>

TEL. 0466-49-3619（研究室直通）

住所 〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322 デザイン棟B（ドコモハウス）
慶應義塾大学 加藤文俊研究室 ※メールをいただくのが一番確実です。

【参考】

浜松市（静岡県）での調査（2011年11月）

調査の概要・経過など <http://vanotica.net/hamap1/>（調整中）

- 静岡新聞 2011/11/8 浜松に眠る人材発掘 慶応大のプロジェクト 学生が独自の視点で取材

上山市（山形県）での調査（2011年5月）

調査の概要・経過など <http://vanotica.net/kamip1/>

- 山形新聞 2011/5/25 上山の魅力を再発見 慶応大生がフィールドワーク 成果、ポスターに表現